Gフレーム

取付説明書　－ 横ファンクション －

●このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
●この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
●この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号	記号の意味
警告	●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
注意	●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号	
ポイント	●取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。 ●守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
※	●取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。 ●取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
補足	●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

＜施工の前に＞

注意

●製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
●正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
●製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
●施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
●梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
●施工手順は、「Gフレーム 取付説明書（E248）G取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。

<施工上のご注意>

⚠ 注 意

●施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
- 作業服および保護具（保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具）を正しく使用してください。
- 作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
  特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
- 器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
- 作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
- 作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
- 万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。

●施工工事の担当範囲に未施工箇所がないことを十分に確認したうえで、取付説明書を次工程の担当者に渡してください。
●取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
●ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
●アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
●製品の改造は絶対にしないでください。
●施工終了後は、ボルト, ネジなどにゆるみがないか確認してください。
●施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。

<基礎工事についてのご注意>

⚠ 注 意

●基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。
●寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。
●コンクリート（またはモルタル）には、塩分を含む砂（海砂）および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤（凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など）は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。
●モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
●製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
●養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

<電気配線工事について>

⚠ 注 意

●ドアホン子機用信号はVTCF0.75mm²のより線またはφ1.0単線2芯を、準備してください。
●PF管は現場で別途手配してください。
●接地工事は電気設備の技術基準にしたがって、確実に行なってください。
●DC12V用照明取付けにはトランス電源ユニットと電源ケーブルがを別途準備してください。AC100Vを直接接続しないでください。

■梱包明細表

【1】横ファンクションセット

名　　称	略　図	員　数	
		W15	W20
横ファンクション上段部材		1	1
横ファンクション下段部材		1	1
横ファンクション下段カバー		1	1
横ファンクション連結目地カバー		1	1
横ファンクション配線カバー		1	1
横ファンクション取付金具（R）		1	1
横ファンクション取付金具（L）		1	1
ポスト取付台座（R）		1	1
ポスト取付台座（L）		1	1
ポスト投入口カバー		1	1
【1-1】φ4×16ナベドリルネジ		20	21
【1-2】M4×12ナベ小ネジ		4	4
【1-3】M4×10 十字穴付六角ネジ（PW+SW）		4	4
【1-4】φ4×10トラスタッピンネジ 2種		2	2
取付説明書〈A528〉	−	1	1

【2】LED照明ユニット

名　　称	略　図	員　数
LED照明ユニット本体		1
LED取付金具B		2
アクリル板		1
【2-1】φ4×8トラスタッピンネジ 3種		2
【2-2】φ4×50トラスタッピンネジ（※1）		2
【2-3】φ4×50トラスタッピンネジ（※1）		2

※LEDユニットにはL06、L09サイズがあります。
※1のネジは使用しません。

【3】横ファンクションLED取付部品

名　　称	略　図	員　数
LED取付金具A		2
裏板		2

【4】サイン

名　　称	略　図	員　数
横長ガラスサイン		1
ネームシール		2
【4-1】化粧ネジ M4用		2
【4-2】M4×40 十字穴付六角ネジ（PW+SW）		2
【4-3】M4丸ナット L=20		2
【4-4】M4ゴムワッシャー		4

【5】エクスポスト S-3型

名　　称	略　図	員　数
ポスト本体 1B05		1

1. 基本寸法と各部の名称

2. 柱の施工

ポイント

●トランスケーブルなどの配線を行ない、横ファンクションの上下にスクリーンを取付ける場合は、柱にあらかじめスクリーンの取付け加工を行なってください。配線後にドリルによる加工を行なうと断線の原因になります。

2-1 柱の加工

※図はLEDユニットとドアホン子機を左側へ取付ける場合を示します。
右側へ取付ける場合はこの対象の位置へ加工を行なってください。

①左右の柱へ対称になるように、各穴をあけてください。

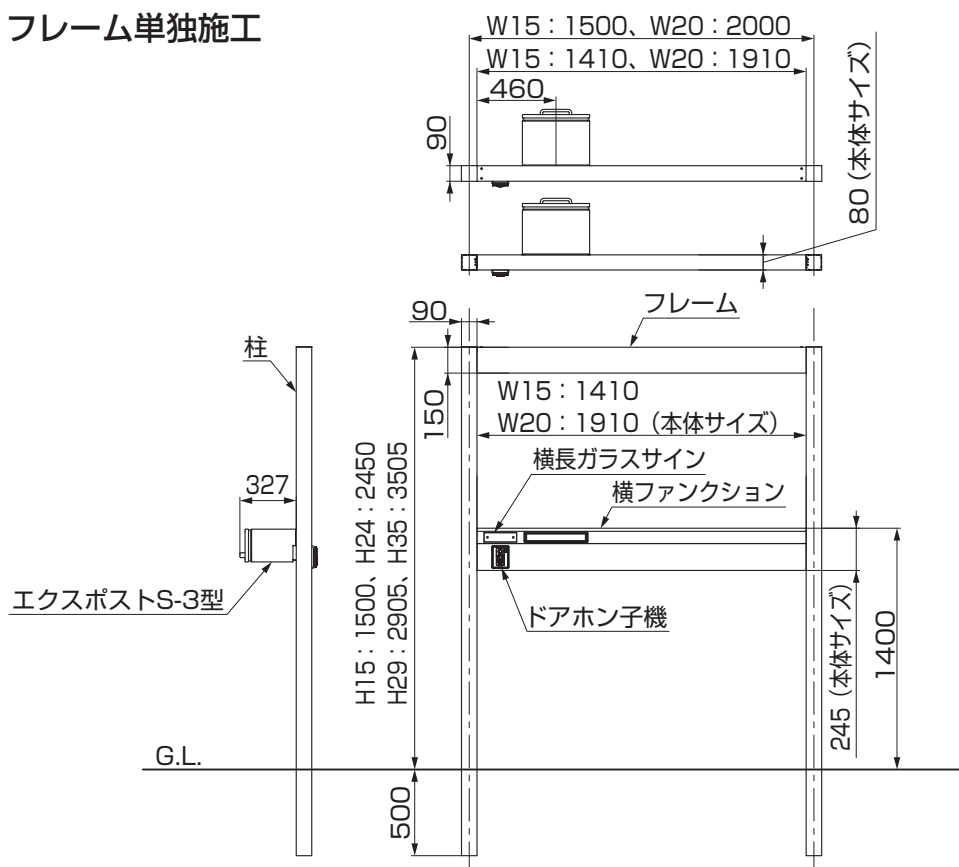
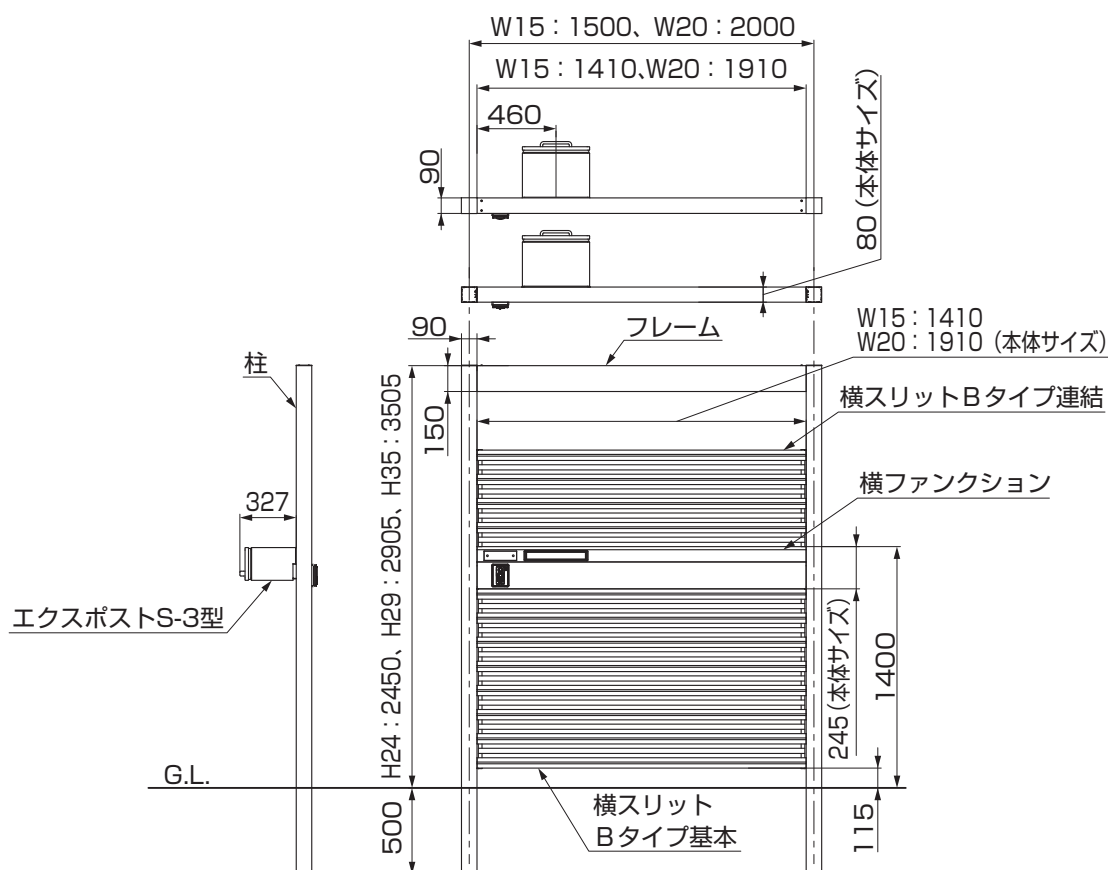
(1) LEDユニットを取付ける場合の加工

①配線の引込穴はポストを取付ける側とは反対の柱にφ12の穴（※1）をあけてください。(図2-1参照)

(2) ドアホン子機を取付ける場合の加工

①ドアホン子機を取付ける側の柱へφ27の穴（※2）をあけてください。(図2-2参照)

2-2 金具の取付け

①横ファンクション取付金具を柱に【1-1】で取付てください。

3. 基礎工事と配線工事　※本図は横ファンクションドアホン無し左用を示します。

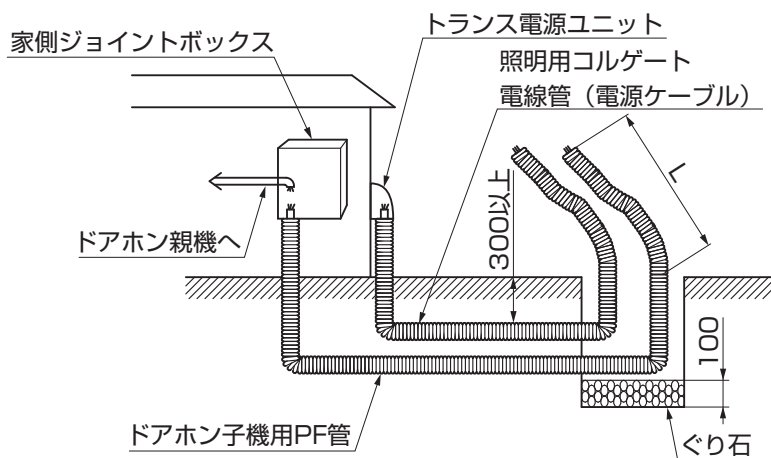



図3-1

①基礎穴を掘り、基礎下に100mm厚のぐり石を敷いてください。
②LEDおよびドアホン機器用の配線配管をしてください。

図3-2

ポイント

- 配管の立上がりと配線の長さは図3-1、図3-2を参照してください。（図3-2はG.L.上の寸法目安です。）
- LEDユニットの取付位置を確認して、電源ケーブルにあまりたるみが出ない長さに調節してください。

配線引出し量
- L1+H1＝L（電源ケーブル長）
- L2+H2+300以上＝L（ドアホン用配線長）

配管の長さ
- H1＝（コルゲート電線管長）
- H2+100＝（ドアホン用配管長）

ポイント

- 配管を柱の下から引込めない場合は、柱の下端部より100mm以内へφ27の穴をあけて配管を引込んでください。
- アンカー棒は必ず取付けてください。
- 柱の埋込み位置は必ずG.L.ラインへくるようにしてください。
- モルタルが固まるまでカイモノをして、支柱が動かないようにしてください。
- 養生中は柱、配管の中へ雨水等が入らないようにしてください。
- 基礎寸法、柱、フレーム施工については、「Gフレーム取付説明書〈E248〉」を参照してください。

4. 部材の加工

4-1 水抜き穴加工

※図は横ファンクション左用を示します。右用はこの対称の位置へ加工してください。

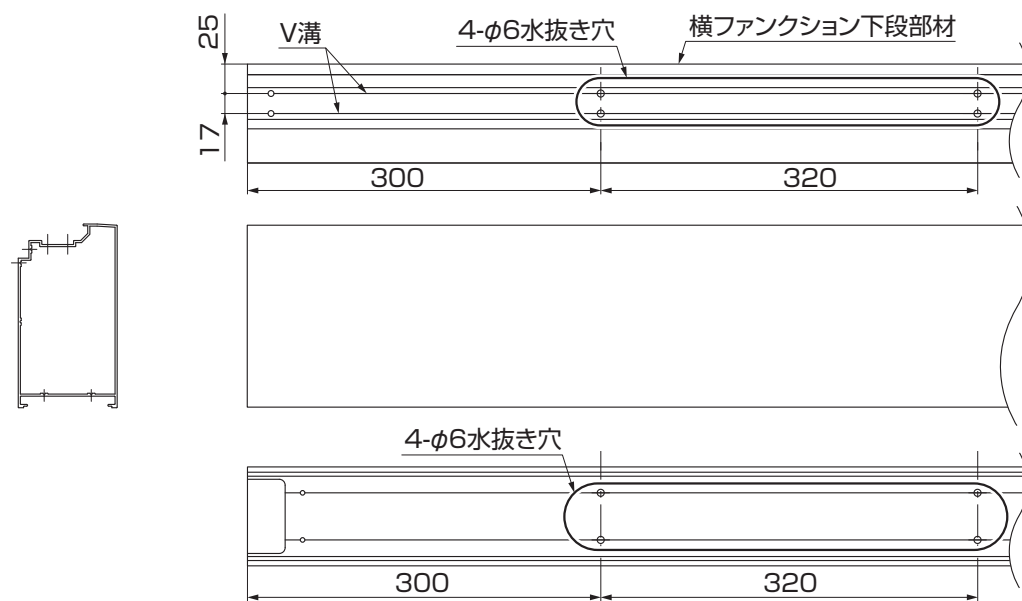



図4-2 横ファンクション下段部材

①図4-1、図4-2を参照して、各部材を加工してください。

4-2 横長ガラスサインを取付ける場合の加工

※図は横ファンクション左用を示します。右用はこの対称の位置へ加工してください。

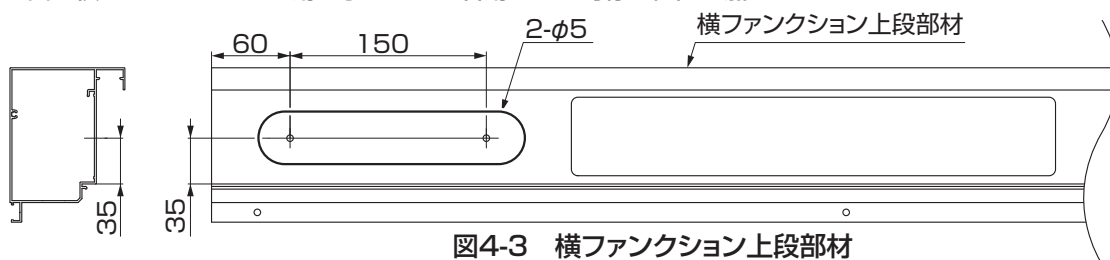



図4-3 横ファンクション上段部材

①横ファンクション上段部材を加工してください。

4-3 ドアホン子機を取付ける場合の加工

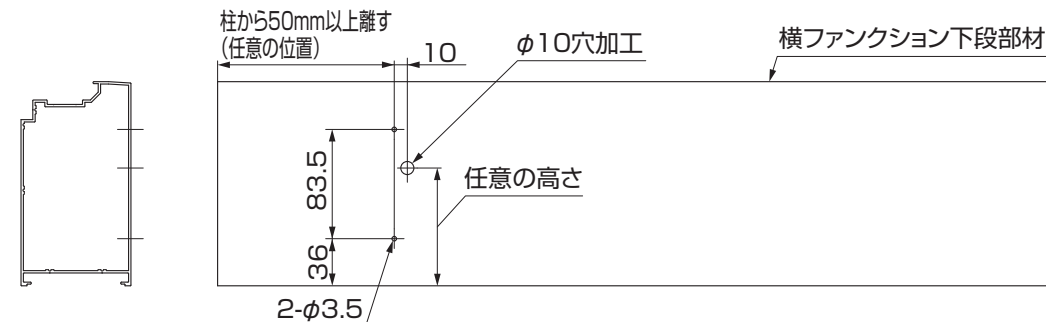



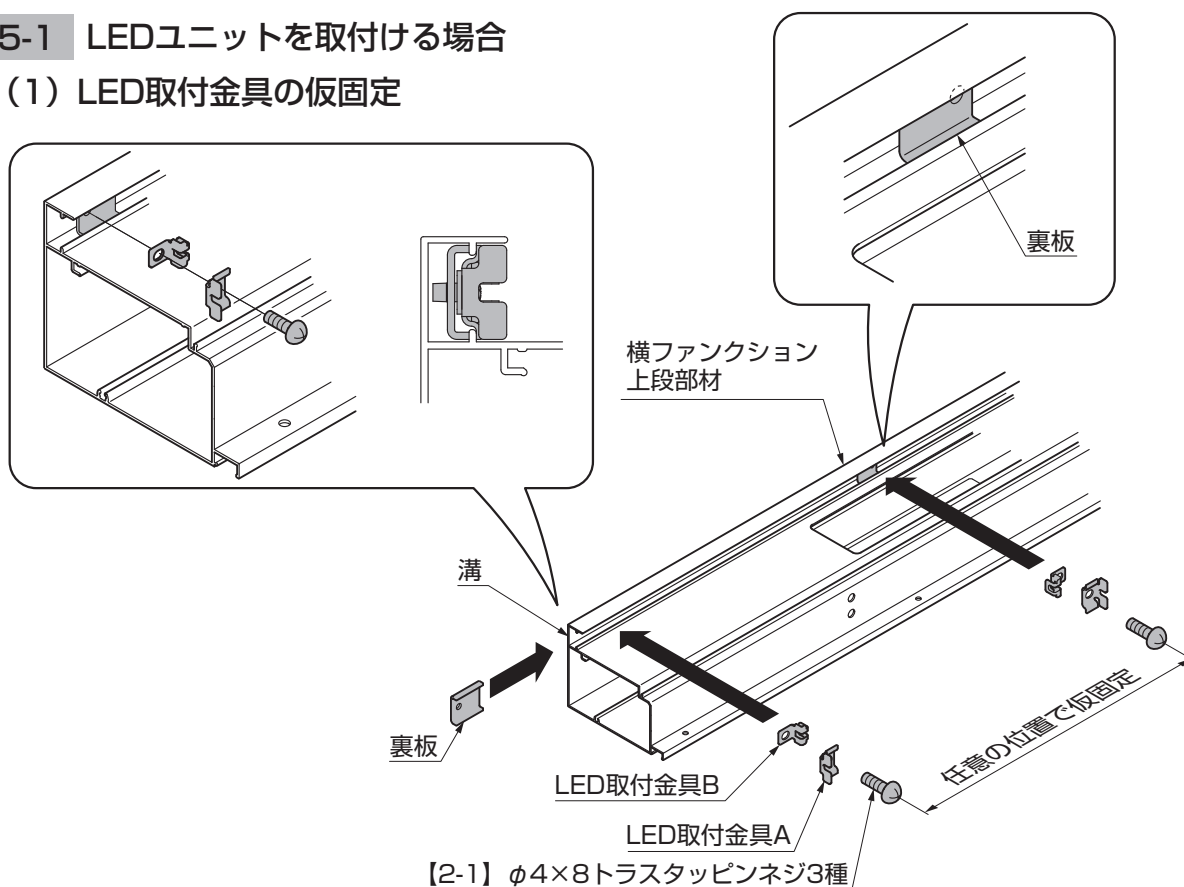
図4-4 横ファンクション下段部材

①横ファンクション下段部材を加工してください。

A528_201102A

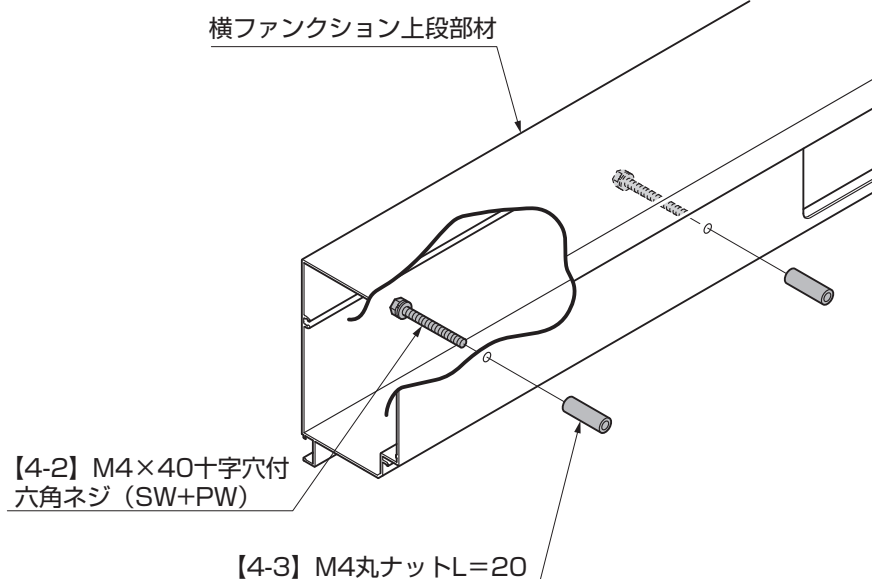
5. ファンクション取付準備

5-1 LEDユニットを取付ける場合

（1）LED取付金具の仮固定

①裏板を横ファンクション上段部材の溝に入れてください。
②LED取付金具A、LED取付金具Bを裏板に【2-1】で仮固定してください。

ポイント

●LEDユニット取付用の金具には、取付方向があります。裏板は、上段部材施工後の後付けはできません。

5-2 横長ガラスサインを取付ける場合

①【4-2】と【4-3】を横ファンクション上段部材に取付てください。

A528_201102A

6. ファンクションユニットの取付け

6-1 横ファンクション下段部材の取付け

※図は横ファンクション左用のLEDユニット、ドアホン子機取付けを示します。

ポイント

●柱、フレームの取付けは「Gフレーム取付説明書〈E248〉」を参照してください。

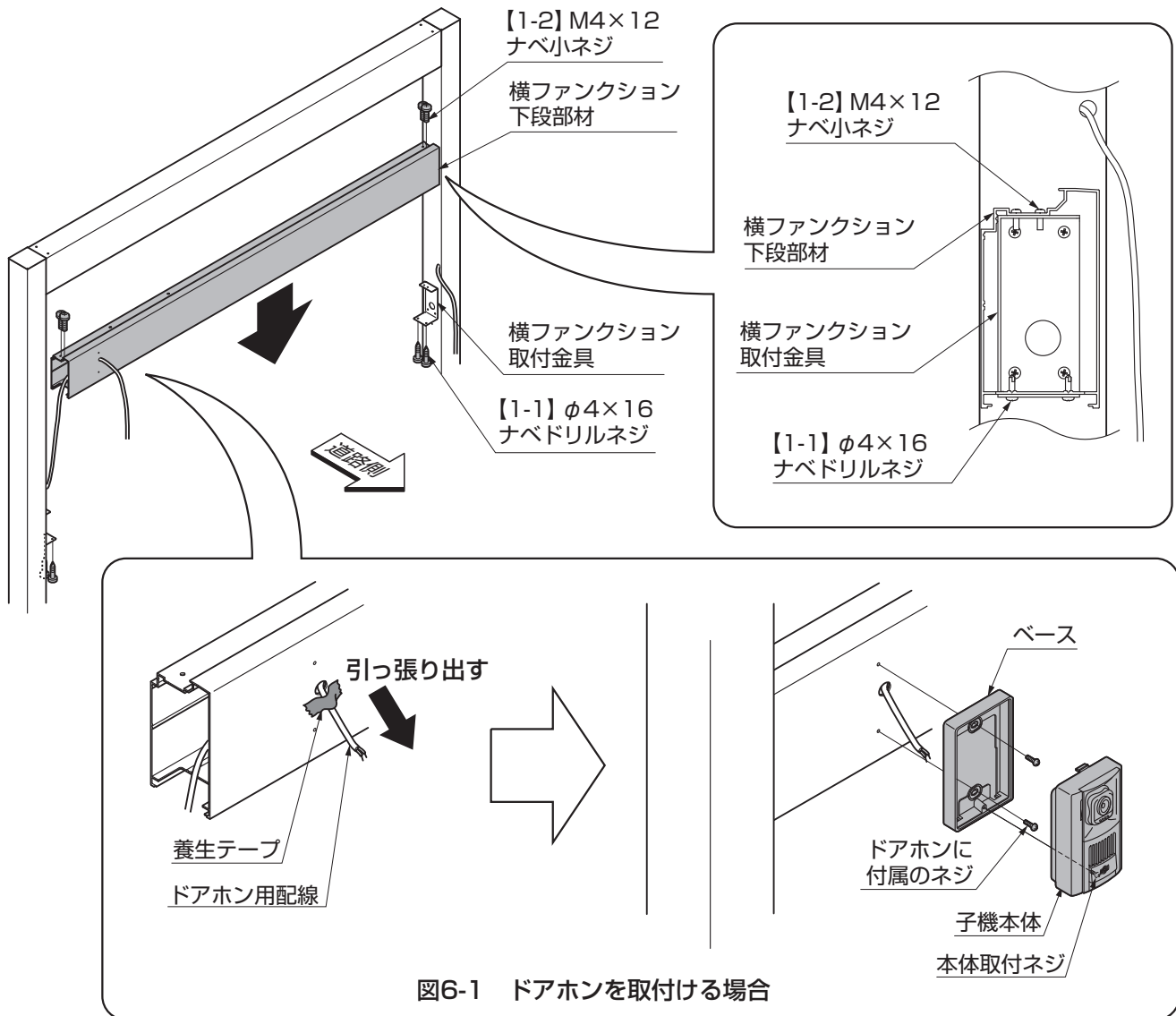



図6-1　ドアホンを取付ける場合

①横ファンクション下段部材を横ファンクション取付金具に【1-1】、【1-2】で取付けてください。

ポイント

●ドアホンを取付ける場合は、ドアホン用配線をあらかじめ横ファンクション下段部材より引っ張り出してください。（図6-1参照）

●ドアホン用配線を養生テープで固定してください。（図6-1参照）

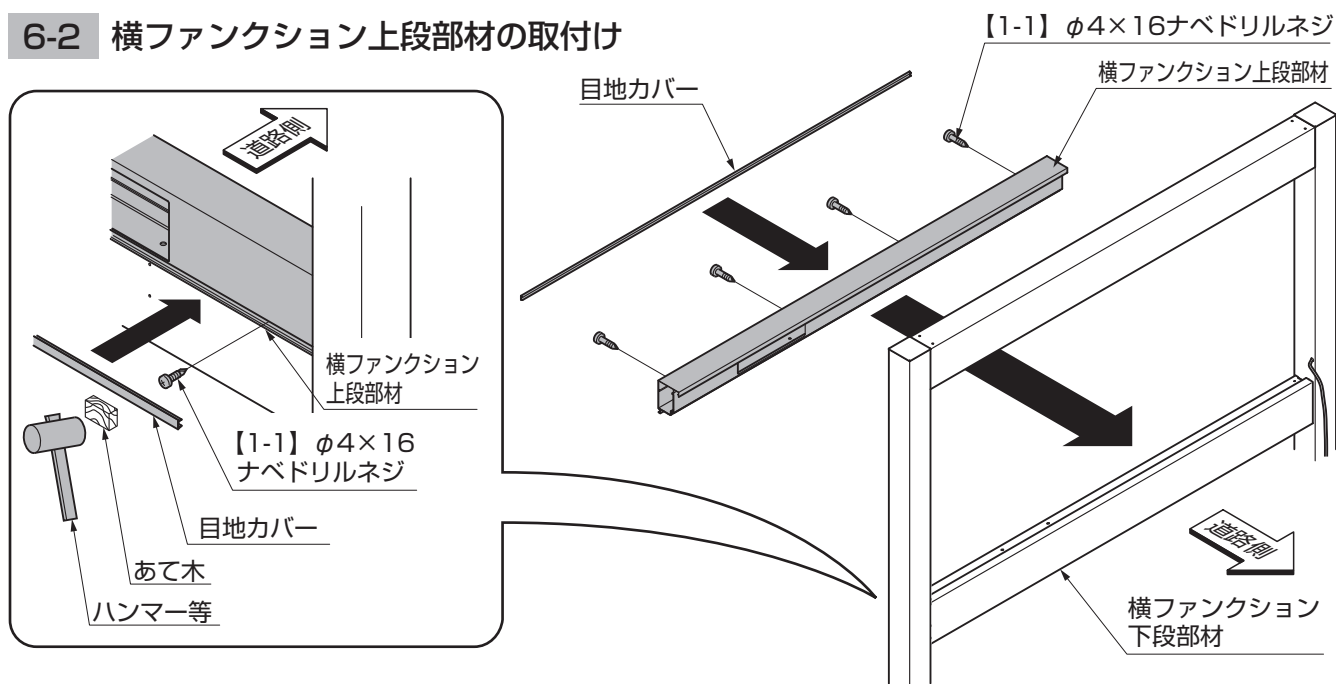
●サインや照明を取付ける場合は、ドアホンの取付け位置に注意してください。

補 足

●子機本体の取付けおよび配線は子機本体の取付説明書を参照して行なってください。

6.（つづき）

6-2 横ファンクション上段部材の取付け

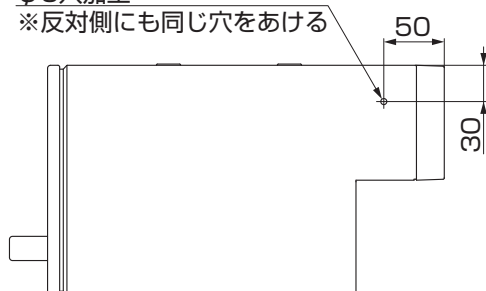
【1-1】φ4×16ナベドリルネジ
横ファンクション上段部材
目地カバー
道路側
横ファンクション
上段部材
【1-1】φ4×16
ナベドリルネジ
目地カバー
あて木
ハンマー等
横ファンクション
下段部材

横ファンクション上段部材
【1-1】φ4×16
ナベドリルネジ
目地カバー
照明用電源
ケーブル
あて木
横ファンクション
下段部材

①横ファンクション上段部材を横ファンクション下段部材に【1-1】で取付けてください。
②目地カバーを横ファンクション上段部材にはめ込んでください。

ポイント

●照明用電源ケーブルがある場合はケーブルを先に上段部材に引っ掛けてから取付けてください。
●目地カバーはあて木をして、ハンマー等ではめ込んでください。

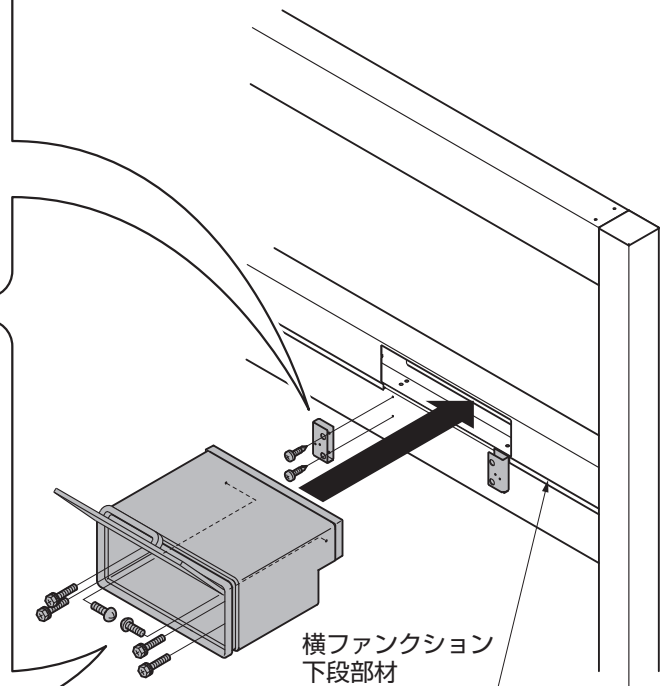
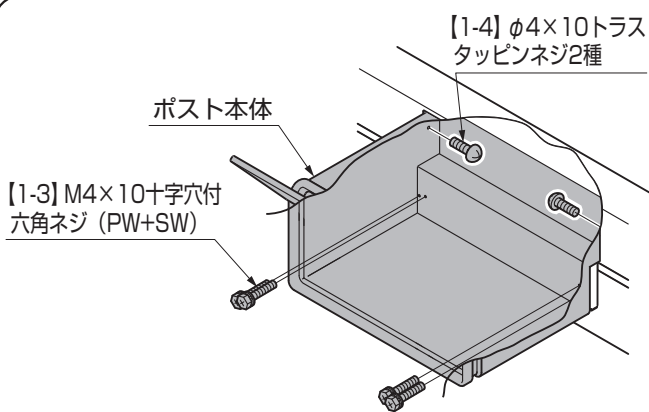
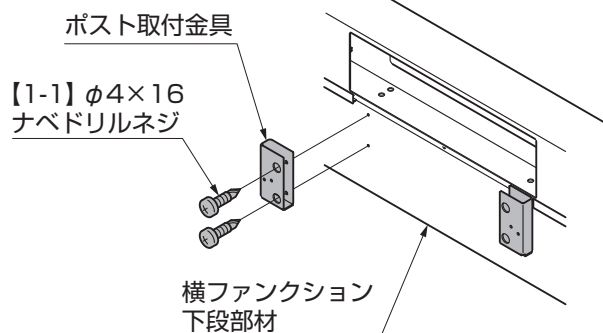
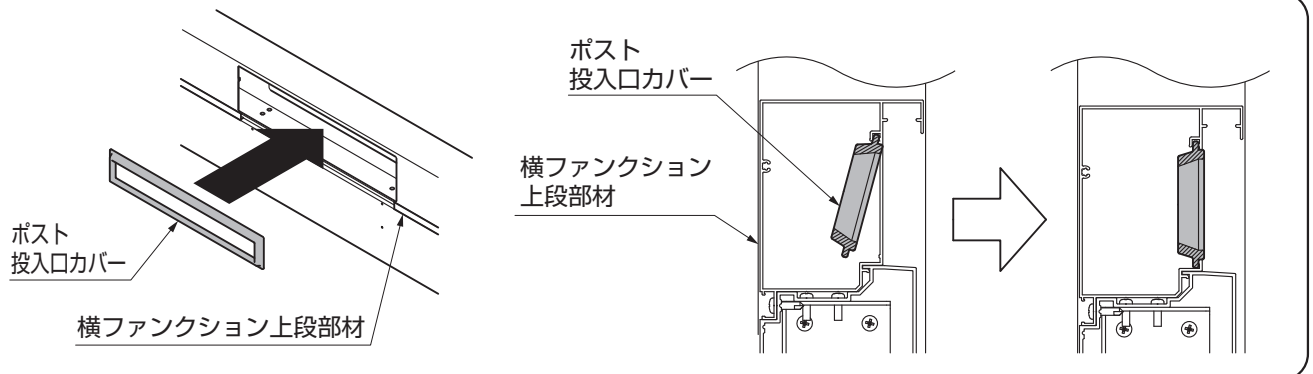
6-3 ポストの取付け

（1）ポストの加工

①ポストにφ5の穴をあけてください。
②ポストスペーサーと中仕切り板を取外してください。

ポイント

●ポストスペーサーと中仕切り板は「エクスポストー口金タイプー取付説明書〈F189〉」を参照して取外してください。

A528_201102A

（2）ポストの取付け

①ポスト投入口カバーを横ファンクション上段部材に取付けてください。
②ポスト取付金具を横ファンクション下段部材に【1-1】で取付けてください。
③ポスト本体を横ファンクション上段部材にはめ込んでください。
④ポストの内側から横ファンクション上段部材のタッピングホールへ【1-4】で取付けてください。
⑤ポストの内側からポスト取付金具へ【1-3】を取付けてください。
⑥ポストの中仕切り板を元の位置へ取付けてください。

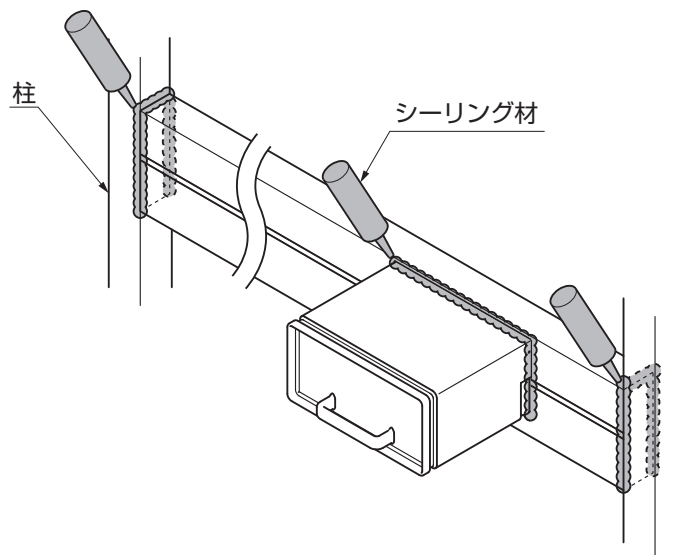
補 足

●ポストを一度はめ込み、各取付穴位置を確認し調整してください。

ポイント

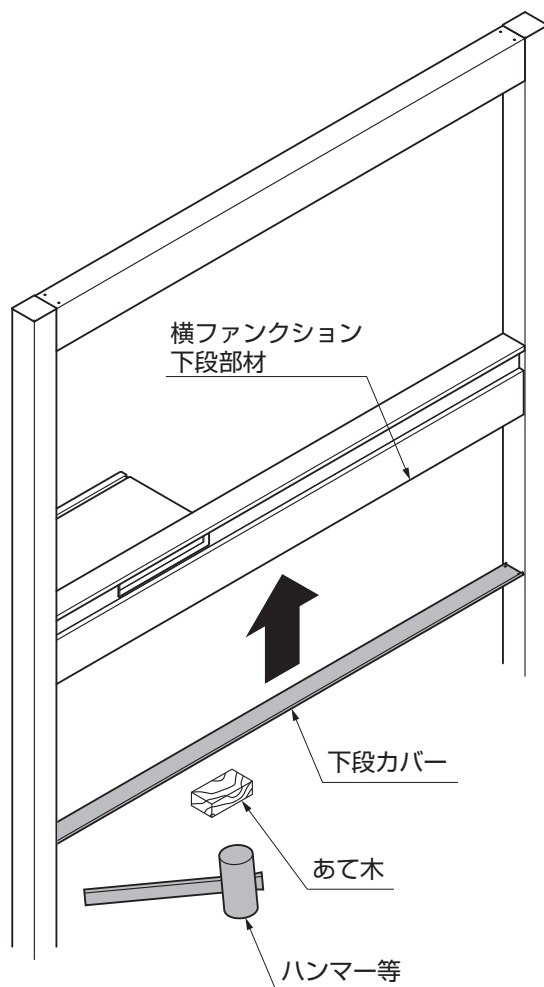
●「エクスポストー口金タイプー取付説明書<F189>」を参照して中仕切り板を元の位置へ取付けてください。

6.（つづき）

6-4 シーリング処理

①柱の接続部とポストのすき間にシーリングをしてください。

ポイント

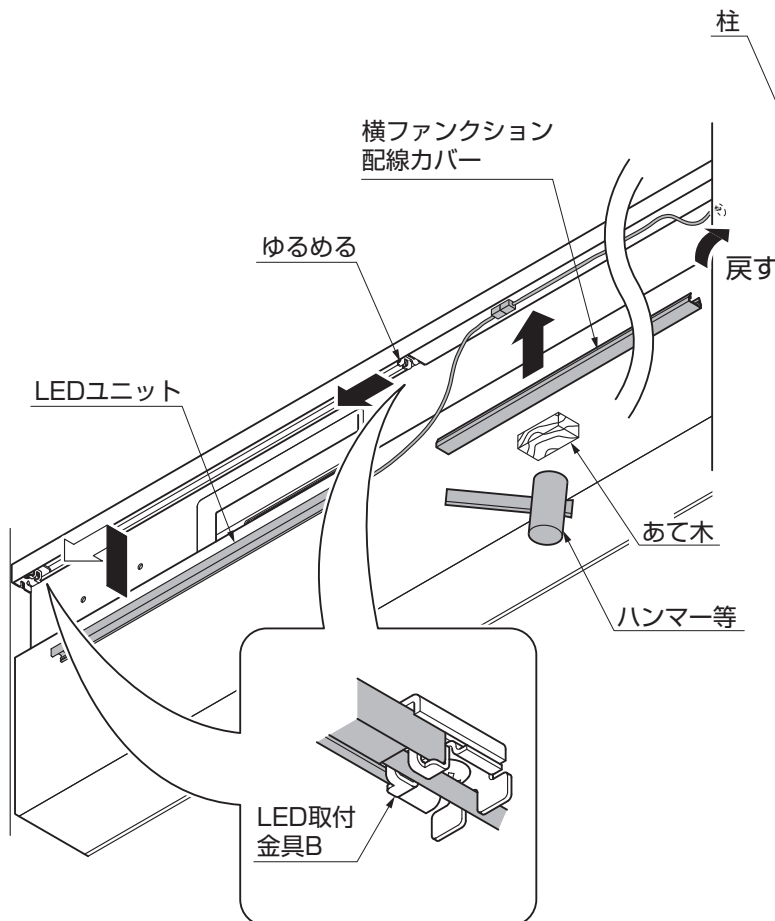
●浸水防止のため、マスキングテープなどで養生し、シーリング作業を必ず行なってください。

6-5 横ファンクション下段カバーの取付け

①下段カバーを横ファンクション下段部材にはめ込んでください。

ポイント

●下段カバーは、あて木をしてハンマー等ではめ込んでください。

A528_201102A

6-6 LEDの取付け ※LEDユニットを取付ける場合の作業です。

①仮固定のLED取付金具をゆるめてLED取付金具BへLEDユニットをはさみこみ取付けてください。

②電源ケーブルをLEDユニットに接続してください。ケーブルのたるんだ分を柱の中へ戻してください。

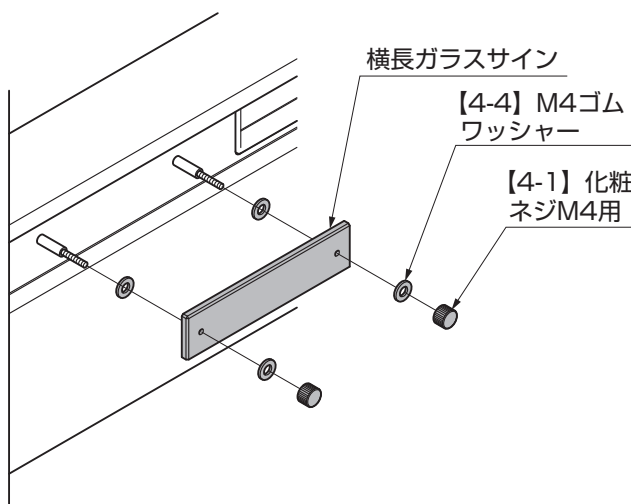
③横ファンクション配線カバーを任意の長さに切断し、上段部材へはめ込んでください。配線を配線カバーの中心に納まるようにはめ込んでください。

ポイント

●配線カバーは配線の露出部または、LEDユニットの無い部分に合わせた寸法に切断し、はめ込んでください。

補 足

●配線カバーは、あて木をしてハンマー等ではめ込んでください。

6-7 横長ガラスサインの取付け ※横長ガラスサインを取付ける場合の作業です。

①横長ガラスサインを【4-1】、【4-4】で取付けてください。